

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学 2024 年夏季
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	32,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1,500 円	
現地通学費	36,000 円	(研修先まで 30 分) ロンドン・ヨークへの交通費を含む、バスは 1 回 1.5 ポンド
教養娯楽費	25,000 円	
被服費	6,000 円	
雑費	2,000 円	水筒
その他	55,000 円	例: お土産、ロンドンでの宿泊費
合計	157,500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
Visa アプリでいくら使ったか通知が来る設定にしたため、お金の管理がしやすかった。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-sim アマゾンで事前に購入した。Sim の出し入れや管理がなく設定での変更だけで簡単に使えたため、紛失の心配もなくよかった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
シェフィールドは夏とは言え、気温が高くなく平均して 20℃前後で、風の強い日も多かったため、長袖を多く持っていき本当によかった。自然が多く学校の近くや近所の公園でひなたぼっこをしたり、坂が多いところなので少し歩くだけでも汗ばむため、もっと脱ぎ着のしやすいものを持って行くと良かったと思う。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
研修開始から数日後に、大学の近くでデモがあった。クラスメイトやホストファミリーと話し情報収集・交換をした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
飛行機到着後からすぐに使用できた。また地下鉄でも問題なく使えた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
お風呂や門限も特になかった。特に帰宅時間については遅くなる場合は WhatsApp で連絡をするように言われ、自由に過ごすように言われた。毎日作ってくれるディナーもとても美味しかった。 イギリスはお家をリノベーションすることが多く、私がお世話になったお家もリノベーションをしていた。お店にも共通しているが、外観はとても古そうに見えても内装はとてもおしゃれな場合がよくあり、そのギャップが面白かった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
少人数のクラスで、自分の意見を発言しやすかった。午前は、90 分授業・30 分休憩・90 分授業で、私にとっては 30 分休憩がちょうどよく、昼食をその時間に取ったり友だちと散歩したりと有意義に過ごせた。 研修先では日本人が大変多く、私のクラスのほとんどは日本人だった。授業は全て英語で、日本語を使わないように言われていたが、やはり日本人が多いためどうしても日本語を使う機会が多いように感じた。が、環境を言い訳にするのは悔しかったため、現地の学生やホストファミリーとの会話を積極的に行った。
2)課外プログラムについて
土曜日の課外プログラムには 2 回参加した。イギリスでは本当に交通費が高く付き、このプログラムは 5 ポンド(1,000 円くらい)で観光地に連れて行ってくれるため、大変ありがたかった。 また生徒のためのバスで、防犯対策にと起きている必要なく疲れたら寝ることが出来たのもよかった。
3)現地での生活に関すること
スリなどにあうことはなかった。治安のいい市だった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
研修先の 1 階に oasis というカフェがあり、水曜日のオンラインレクチャーはそこで受けていた。その時に会ったクラス外の中国人の方と仲良くなり、お互いの友だちを連れて大学からすぐにある Peak District(国立公園)にみんなで遊びに行った。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
Weston Park という研修先から歩いて 15 分程度のところにある公園がとても好きで、よく一人で行っていた。あるときシェフィールド大学に通う学生に話しかけてもらい仲良くなり、その後何度か約束し公園でひなたぼっこをした。 他にもバスで女性に話かけられたり、道に迷って現地の人に聞いたらず目的まで一緒に連れて行ってくれたりした。日本では考えられないくらいフレンドリーな人ばかりで、初対面の見ず知らずの人とでも 30 分、1 時間と話すことも多いようだ。もちろん知らない人と話すときは、周りに多く人がいて、何かされたらすぐに助けを呼べるようなところで話すようにしていた。 慣れない場所で、一人で行動することは勇気がいるかもしれないが、日本人同士でいるよりも一人で行動していた方が、周りの人が話している英語をよく聞くことが出来たり、話しかけてもらう機械が増えたりした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
デザートが本当に甘い。初めてのディナーの後にティラミスを用意してくれて食べたが、本当に甘すぎて半分までしか食べることが出来なかった。が、2 週間が過ぎたくらいで私の味覚も適応して食べることが出来るようになった。 店員さんが、店長に許可を取ったりせず、少しまけてくれたり買い物後に追加で飲み物を買おうとするとプレゼントしてくれたりした。日本だったら、すぐ店長に怒られるはずなので、その緩さが面白かった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は、今回の研修が初めての海外だった。そのため一人で飛行機に乗るのは怖く、グループ渡航を選んだ。行く前まではほとんど他人同士であったが、研修を通して仲良くなり、移動の時に一緒にいてくれる人がいるのは大変心強かった。

日本人が多く、英語を使うには少し難しい環境だったが、自分から行動できたことはとてもよかったと思う。普段はインドアなためこんなにアクティブに行動したのは中学生ぶりで、いつもと違う自分が面白かった。特に一人で行動することは、英語に触れる機会を増やすことも出来たし、リフレッシュすることも出来たため、本当に良い時間だった。

今後はしっかりと文法・語彙を勉強して仕事で英語を使えるようにしたい。

アドバイスとしては、自分がどんな留学にしたいのかを考えたときに、英語に沢山触れたいのであれば、日本人同士で群れることはおススメしない。自分で考え意見を伝える・行動する、自律することが大切だと思う。私はもともと一人の時間が必要な性格だったこともあり、自分で考え行動することは本当に楽しかった。

来年行く方は頑張ってください！楽しんで！！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	平日の昼食と休日の食事
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8000 円	E-sim を無制限にしたため
現地通学費	18000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	80000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	円	例:
合計	146000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 空港の両替所 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 holafy の E-SIM
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか パーカー エディンバラに行ったため

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? 暴動のあった日は中心部にはいかにようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 日本と比べ移動中や街中の電波が弱いと感じた

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホームステイだったため日常的に英語は聞いたり話したりしなければならなかったため英語力が飛躍的に向上した。学校終わりや休日にいろいろな場所に連れてもらい現地の人の生活を知ることができた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

先生が曜日によって違い、様々な授業を受けることができた。

2)課外プログラムについて

私は一つも参加しなかった。

3)現地での生活に関すること

シェフィールドは人がやさしく緑が豊かなためとても過ごしやすかった。物価がほかの都市に比べ安いと感じた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

私のクラスでは、日本人と韓国人とイタリア人がいて、英語でコミュニケーションをとる機会が多かった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プレミアリーグで隣の席になったイギリス人と仲良くなり、そのあとパブに行った。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

イギリスでは完全にキャッシュレスが普及しており、現金を使う場面はなかった。電車もバスもクレジットカードで乗ることができる。イギリスでは学生や若い人に対する割引がとて多く交通機関や歴史的建築物の入場料、プレミアリーグのチケットなどが安くかうことができた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

まず、平日は9時半から3時半くらいまで授業があり、午前はレベル別にクラスで午後は選択授業であった。放課後は自由であり、サッカーやバスケットをする人や家に帰る人がいた。私は午後ホストファミリーがパブに連れて行ってくれたり、会話をすることが多かった。休日も自由で私はロンドンやエディンバラ、ヨーク、マンチェスターに行った。人によってはフランスやオランダに行っている人もいた。この留学を通して、英語はコミュニケーションであるということを強く実感した。私は英語をあまり喋れるわけではないが、コミュニケーションをとることができ、現地の人とも仲良くなることができた。しかし英語でより話したいと思い日本で英語の勉強を続けていこうと思う。もし留学に迷っているなら、一歩踏み出して挑戦することをお勧めする。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学2024年夏季
-----	------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	だいたいです
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	8000 円	(研修先まで40分)←バスは学生用の4週間チケットを途中から購入しました。
教養娯楽費	円	
被服費	15000 円	
雑費	30000 円	お土産等
その他	40000 円	ロンドンでのホテル代&往復交通費(1泊2日)
合計	146000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 成田空港の外貨両替所(GPA)にて2万5000円分を両替 ※20分ほど並びました。 その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 公共交通はもちろん、飲食店や小売店は基本的にカードのタッチ決済に対応していたので、渡航前に作ったデビットカードを主に利用していました。念のため準備していた現金は、友人と割り勘する時などに役立ちました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 以前イギリスに滞在していた友人から勧められ、giffgaff という SIM カードを用意していました。日本に SIM を無料で郵送してくれて(渡航の2週間前に申し込みました)金額も比較的安いのでおすすめですが、eSIM と比べて設定は少し複雑に感じました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか ・ファブリーズのような消臭スプレー(イギリスで買おうとすると異様に大きいサイズのしかない&洗濯するほどではない時に便利) ・日焼け止め(日本より圧倒的に気温は低く涼しいが、日差しは強い) ・ウェットティッシュ(家用の大きいサイズと、持ち歩き用のポケットサイズ両方あるとより便利) ・カード番号が印字されているクレジットカード(ロンドンなどでホテルに滞在する予定がある人は、デポジット金を払う際にナンバーレスでないカードを求められる場合がある) ・ヒートテック(寒がりな人は3枚ほど必須) ・圧縮袋(神様) ・ゴミ袋&マイバッグ

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ ☒ 情報収集方法 大学がたびレジに登録してくれたため、メールや LINE での通知で現地の情報を入手。 ☒ 防犯対策 お守り代わりに防犯ブザーを持参。ケータイは基本的に斜め掛け。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学やホームステイ先など WiFi 環境が整った場所では、比較的接続状況は良かった。WiFi 環境が整っていない時に繋がりにくさを感じることはあったが、それほどの支障はなかった。プランとしては、1か月で30GBを購入し、Google マップや YouTube など沢山利用したが使い切りはしなかった。

滞在形態関連	
1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☒ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可) ※自炊はしようと思えばできたが一度もする機会はなかった。	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
英語力に自信はなかったため、渡航前はホストファミリーとの会話などが上手くいくかどうかや、買い物などが1人でできるかを心配していましたが、いざ行って、拙い英語でも相手に伝えようと頑張れば、どうにかになりました。なので、あまり心配せず「ヨーロッパに行ってみたい!」「〇〇見たい!」といった素直な気持ちを持って行けば、楽しめると思います。また、私は4年生で、学年的にもプログラムの参加を迷っていましたが、下級生や他大学の人の繋がりが出来ましたし、就活を終えた自分へのご褒美としてすごく良いプログラムでした。社会人になったらさすがに1ヶ月の休みは取れないですし、ホストファミリーから子ども扱いしてもらえる環境は学生だからこそだと思うので、ぜひ高学年で参加を迷われている方も参加してみてください!	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
【良かった点】 ・学年学部バラバラな生徒が集まっていたため、いろんな人と関わることが出来た。 ・日本語が分からない先生が指導してくださるため、英語を積極的に使う努力をすることが出来た。 【良くなかった点】 ・オリエンテーション時に仲良くなった子がいても、渡航後に割り当てられたクラスで別の仲良い子が出来てしまった時、週末の小旅行のプログラムなどを誰と回るかで少し迷う時があった。 ・他大学の学生たちは渡航前に10回ほど参加者に関わる機会があったと聞いて、もう少し私たちの大学もそのような機会があったら良いと思った。
2)課外プログラムについて
個人で行くよりも非常に安い価格で観光スポットに行くことが出来たので良かった。また、朝の集合時間は早いですが、土曜日だけで解散時間が遅すぎないのは、次の日ホストファミリーと過ごしたりしたい私にとっては非常にありがたかった。
3)現地での生活に関すること
・夏でも想像以上に寒かったため、半袖は一応持っていく程度で基本的には日本の10月&11月に着る服を持っていくといいと思った。 ・日が長く、22時くらいにならないと空は真っ暗にはならないため、1日が長く感じられて良い一方、気づくと「明るいけど実はもうこんな時間!」となることも多かった。 ・電車やバスなどは日本のように時間通りには来ないため、ある程度期待を捨てるのがいいと思った。また、バスは日本のように次のバス停を言ってくれないため、タイミングを見計らって降車ボタンを押すのが衝撃だった。 ・ホストファミリーは料理上手で好き嫌いなども最初に聞いてくれたため、特に食事で困ったことはなかった。 ・シェフィールドの人は温かい人が多く、ホストマザーの真似をして人と通り過ぎる時に挨拶をすると基本的に誰でも返してくれた。 ・ホームステイ先周辺はもちろん、大学周辺も坂がきついところが多いので、履きなれた靴で時間に余裕を持って行動する必要があった。 ・水は飲める&授業を受ける建物にはウォーターサーバーがあるので、水筒などを持って行って水代を節約するのがいいと思った。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
基本的に授業は留学生向けの施設で行うため、現地学生との交流はなかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
現地学生ではないが、同じようなプログラムで仲良くなった他大学の友人とは何度かパブに行ったり、ホストファミリーの家に招待したりした。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

- ・バスの乗降時に運転手に挨拶することや、近所の人に会った時に挨拶する文化が定着しているのは非常に良いと思った。
- ・当たり前だと思うかもしれないが、ホストファミリーが信者などでなければ「いただきます」的なのではなく突然食事が始まった。
- ・ロンドンでバスを待っている時に人助けを求める高齢女性がいたとき、大人よりも子供がすすんで助けようとしているのが印象的だった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

イギリスというと日本から距離的にも離れていて文化や習慣にも大きな違いがあるのかと思っていましたが、悪い意味でのギャップのようなものを感じることはほぼなく、比較的日本人が住みやすい国であるように感じました。また、留学に行く前までは、シェフィールドの生活をきちんと送ることで精一杯になるだろうと思いロンドンに行く予定はありませんでしたが、2週間ほど経つと心に余裕が生まれてきて、1泊2日ですが人生で初めての1人小旅行をすることが出来ました。(幸い本当に何事でもありませんでした)

これだけでも、このプログラムに参加することでなにかしら成長して日本に帰ってきたいと考えていた私にとっては大きな出来事のように感じます。そして、予想していた通り英語を話す力はそれほど伸びませんでしたが、拙くとも積極的に話そうとするようにはなりましたし、聞き取る力は非常に向上しました。

1か月という短い期間でも、積極的に行動すれば必ず何かしらの成長はあると思います。私自身、勢いで参加を決めた人なので、あまり気負い過ぎず学生の特権である長期休みを有効に消費する手段としてぜひ参加してみてください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	2024 年度夏季 海外語学研修 シェフィールド大学
-----	----------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	8000 円	
現地通学費	15000 円	(研修先まで 45 分)
教養娯楽費	30000 円	
被服費	6000 円	
雑費	円	
その他	100000 円	例:ホテル、電車、チケットなど
合計	199000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法:インターネット その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカード、デビットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 Amazon で買った three の SIM カード
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか ティッシュ、ウェットティッシュ、ハンドソープ、インスタントの食べ物・飲み物など

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等) ☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリー) 特記事項: 電車の乗り換え
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? 話しかけられても無視する、貴重品は常に携帯する
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 電車の中の接続は悪かった

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ホストファミリーはとても優しく、誰にでも自分から話しかけることが大切

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
色々な大学の人に会えたこと、異文化に触れることができたこと、有名な都市や観光名所に行くことができたことは良かった 日本人の生徒が多すぎたこと、授業の内容が難しく理解できないことがあったことは良くなかった
2)課外プログラムについて
毎日授業後にスポーツやゲームなどのアクティビティーがあった 土曜日には5ポンドでスクールトリップに行けた
3)現地での生活に関すること
ホストファミリーが料理や洗濯などをすべてやってくれた、現地の人も親切な方が多い たまにお金をくれといってくる人がいるがすべて無視することが大切 頻繁にバス、トラムを使う人はフリーパスを買うとシェフィールド市内は乗り放題なので便利

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
アクティビティーに参加すればある
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
同じクラスのひとの寮に集まり、みんなで夕食を食べた

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
お風呂は基本シャワーのみ、公共トイレは有料の場所が多い

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

オールイングリッシュの授業なので、特に名詞・動詞でわからない単語が多いと内容を理解することが難しくなると感じました。そのため、研修に参加する前に大学受験に使った単語帳を軽く復習しておいた方が良いと思います。 リスニング力の成長は感じましたが、会話力は思ったより向上しなかったもので、日ごろから英語で独り言を考えることや英語で日記を書く習慣をつけておくと役立ちます。 土日は授業がないので多くの人が旅行に行きます。たくさんの観光名所があるので行きたい場所を事前におおまかに決めて、予約が必要か・チケットはいくらなのかなどを調べておくと計画が立てやすくなります。イギリス国内だけでなく、スペインやフランスに行っている人もいました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学 2024 夏季
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,000 円	スーパーのサンドイッチや近くのフィッシュアンドチップスのお屋代
図書費・学用品費	70,000 円	ノートパソコンの代わりに iPad を購入
携帯・インターネット費	10,000 円	eSIM で 30 日間通話あり、無制限のもの
現地通学費	11,000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	150,000 円	週末は全て観光
被服費	10,000 円	サンダルなどを日本で購入
雑費	24,000 円	お土産など
その他	円	例:
合計	300,000 円	円安の影響もあるがイギリスは物価が非常に高い

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前にポンドに替えておいた
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を用意した。スマートフォンですべて行えるので便利だった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
バスやトラムが安く乗れるカードの申し込みをもっと早くするべきだった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
貴重品はポーチに入れて常に持ち歩き、カバンは道路側にしないようにした。 盗難等には巻き込まれなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
都市の間を移動する電車などでは繋がらなかったりしたが、町の中では問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 0 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
人によるのであまり期待しない方がいいと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
会話をグループやペアでするように求められることが多く練習になった。
2)課外プログラムについて
週末に安く他の町に行けるプログラムがあるが自由散策なので事前に調べて行くのがいい
3)現地での生活に関すること
坂が多く、平な道がほとんどないので最初は大変だった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地の学生との交流の機会はあまりないが、放課後などのプログラムに参加すれば交流できる。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
あまり交流できなかった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
バスはバス停に立っているだけでは止まってくれず手を上げなければならないのは最初知らなかったのが驚いた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

シェフィールド以外の町に行くなら休みの日は限られているので早めに予定を立てた方がいい。イギリスは電車のチケットを当日に買うと高く、また、人気のアクティビティや観光名所は予約が必要で直前だと空いていなかったり、値段が高くなってしまっていたりする。そのため、それらの代金はクレジットカードで払うのであまり現金を使う機会がなく、スーパーやレストランもほとんどクレジットカードなので現金はあまり必要なかった。自分は5万円分ポンドで持って行ったが半分も使わなかった。多くの施設が18時には閉まるので、計画に余裕を持った方がいい。ホームステイは最初、会話が難しかったが次第に慣れてきたので、早いうちから多く会話し方がいい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	平日のお昼代、外食費など
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	円	
現地通学費	11,000 円	(研修先まで バス+徒歩で 40 分)
教養娯楽費	150,000 円	旅費など
被服費	25,000 円	
雑費	20,000 円	お土産
その他	円	例:
合計	256,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で事前に両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金 3 万を両替して持って行きましたがほぼクレジットカードしか使わなかったです。ただキャッシュオンリーのお店もありました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Amazon で three の 25G を購入。気にせず使って全然足りました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
コロコロ: 部屋の床など定期的にコロコロしてました
のど飴: 結構乾燥してます

準備した方がよかったもの
防寒着: エディンバラに行ったとき寒すぎてダウンとマフラーを買いました。シェフィールドも曇りや雨の日は寒いです。寒がりの人は裏起毛の何かがあると安心かも。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
携帯や財布、パスポートなどの貴重品は肌身離さず持っていました。ロンドンの地下鉄は特に気を付けていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
たまに繋がりが悪くなるがありました。学校やホームステイ先では問題なかったです。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類	2)部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホストファミリーがとても親切であり不自由なく過ごせました。ご飯もおいしく、日本食を持って行きましたが全く食べなかったです。連絡ツールは WhatsApp を使っていました。 私は荷物を限りなく少なく持っていきすぎて服を薄めものばかりにしてしまい、寒い思いをしたので厚手のものを数枚は持って行った方がいいです。でも晴れている日や、日が出ているときは暑いので、両方持っていくことをおすすめします。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かった点:少人数のクラスで、みんなが発言する授業の仕方だったこと。ペアワークも多かったのでクラスの人とも仲良くなりやすかった。 良くなかった点:休む人がまあまあいる。
2)課外プログラムについて
私は参加しませんが、毎週土曜日に観光地ツアーがありました。日本円で 1000 円ほどでいけるので、予定が合うなら参加してみてください。
3)現地での生活に関すること
シェフィールドは自然が多く、とても気持ちがよくて過ごしやすい街でした。普段あまり運動をしないのですが、ずっと散歩したくなるような街の穏やかさと緑の多さがありました。ただ急斜面が多く、かなり疲れます。私は学校を出てからバス停まで歩いて 15 分ほどの距離だったのですが、ほぼずっと上らなければいけなかったのが最初は大変でした。この 1 ヶ月は健康的だったんじゃないかと思います。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
日本人や韓国人の学生と一緒にカフェに行ったりしました。英語で会話していたので、お互いに英語力向上に繋がったような気がします。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ホストファミリーがクリスチャンで、毎週日曜日に行われるエマニユエル(集会みたいなもの)があると教えてくれたので、自分も行ってみたくて言ったら連れて行ってくれました。そこでは聖書のお話を聞いたり歌を歌ったりしました。 また、ホストファミリーが家でエマニユエルで交流のある人たちを招いたピザパーティーを開き、たくさんの現地の人とお話しすることができました。イギリスのリアルな英語に触れることができ、とても貴重な経験でした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
お店の店員さんの愛想が良く、お客さんがフレンドリーでした。一度、カフェでサンドイッチを頼んだら、注文していないバナナスムージーをタダでおまけしてくれました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この研修の一番大きな特徴はホームステイであることです。学校の授業だけでなく、家に帰っても確実に英語を話す機会があるので、英語力を向上させたい方や英語に慣れたい方にはぴったりだと思います。私は海外経験が全くなく、英語も得意ではなかったのが最初は不安でした。しかし皆とても親切で、こちらが言いたいことが出てこない時も待ってくれたり、話を聞こうとしてくれたので、もっと話せるようになりたいと英語を勉強するモチベーションになりました。また、イギリスのいろいろな場所に行けたのも良かったです。自分一人で旅行するのもありですし、友達とでもいいので、とにかく週末にはどこかに出かけることをお勧めします。同じ国でも違った街並みや文化、人に触れることができます。

日本に帰ってきて英語漬けの日々ではなくなりましたが、この研修を終えてから、英語は続けていきたいと思うようになりました。英語で仕事を、とまではいきませんが、いちコミュニケーションツールとしての英語の習得は、新たな視点と出会いを持っています。せっかく英語に慣れたので、日本でも留学生との交流会などに出てみようかなと思います。

これから行く皆さんもシェフィールドで素敵な一ヶ月を過ごしてください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	2024 年度夏季海外語学研修 シェフィールド大学
-----	---------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1万 円	現地で買い足した分を含む
現地通学費	1.5万 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	15万 円	ロンドンや他の観光地への旅行
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	20.5万 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 出発前日に100ポンド(手数料込みで約2万円)を両替。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください どのお店、交通機関でもクレジットカード、デビットカードのタッチレス決済が可能。現金のみのお店に出会うことはなかった。Visa、master どちらかあれば困ることはないと思います。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 日本で eSIM を契約していったがインターネットに繋がらなかったため、現地のコンビニで新しく購入しました。ほとんどのコンビニで SIM カードを 10GB、10 ポンドくらいで売っていました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 夏でも現地は 20 度を下回る日が多く、夜は寒いと感じる日が多かったため上着があると便利です。水道水は飲むことができるので水筒を持っていくと節約になります。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ シェフィールドはイギリスの中でも治安のよい街でした。特に危険な思いをしたことはありません。ロンドンに行った際は常に財布とスマホはチャックの閉まるカバンの奥深くに入れていました。ホストファミリーに自分の行く場所を伝えて、現地の情報を教えてくれました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 日本で契約した SIM はつかえませんでした。ただ、コンビニで購入した SIM は普通に使えました。家、大学内に Wi-Fi があったのでデータ通信量はあまり多くなくても大丈夫です。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
同じ家に明治の学生がもう一人いて、それぞれ個室を貸してくれました。門限やシャワーの時間などに決まりがなく、自由に生活させてくれました。食事の時間は決まっていたので遅れないように帰宅していました。映画を見ることが私は好きでホストファミリーも好きだったみたいで、食後はよく映画を見ていました。自分の趣味を伝えることでホストファミリーとの距離を縮められるとおもいます。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
初日にクラス分けテストがあり自分の英語力にあった授業をうけられます。私のクラスは Max15 人くらいいて、明治の学生より前に来ている人たちや 1 週間遅れて参加する学生などがいました。大半が日本人なので良くも悪くも日本を使う機会が結構あります。シェフィールド大学がやっている語学学校に通うので、イギリス人の友達を作ることは難しいです。
2)課外プログラムについて
パブに行くプログラムがあり一度だけ参加しました。参加者は全員日本人でしたが、現地の学生一人が付き添ってくれました。
3)現地での生活に関すること
日本の夏と比べて気温が低いので日本の秋の恰好がちょうどいいです。洗濯は週に 1、2回なのでそれに合わせた服を持っていました。学生証を初日に発行してくれて、これを見せると様々なお店で学割をしてくれるので必ず持ち歩くようにしていました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
パブに連れて行ってくれた現地学生と短い時間だったが、イギリスでおすすめの場所や大学での勉強などを話しました。課外プログラムは現地学生と話す貴重な機会です。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外で現地学生と交流はありませんでした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
物価が日本の倍以上して、交通機関も運賃が高いと感じました。一方で駅に改札がなく、車掌が切符を見に来るタイミングによって無賃乗車できてしまいます。切符を持っていない人が車掌にばれてものすごく怒られていたので、トラブルになるようなことは控えたほうがいいです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

外国に行くこと自体が初めてだった私はホームステイすることが楽しみな反面、とても緊張していました。ただホストファミリーはとても親切で緊張はすぐなくなりました。研修で一番楽しかったことは何かと聞かれたら私は絶対にホームステイと答えます。ロンドンに行ったことも楽しかったですが、イギリス人と一緒に生活できたことがとても貴重な体験で自分の自信にもなりました。ほかの研修には参加していませんが、迷っているのであればホームステイできるシェフィールド大学の研修をオススメします。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5,5000 円	レストラン、カフェ、スーパー
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7000 円	eSIM
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩 35 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	20,000 円	
雑費	65,000 円	お土産など
その他	35,000 円	例: 電車やバスなどの移動費、ホテル代
合計	182,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 外貨両替ドルユーロという外貨を宅配してもらったサイトで日本円 3万円分両替しました。小額紙幣多めなど選ぶことができました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
小さめのお店でも、クレジットカードを使うことができました。ただ、ロンドンで行ったマーケットでは現金しか使うことができないというお店もありました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
無制限で使える eSIM を購入しました。ただ、家や学校では Wi-Fi を使うことができ、電車ではほとんどネットにつながらなかったため、合計で 10 ギガほどしか使いませんでした。15 ギガあれば十分だと思います。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水道水は普通に飲むことができたので、水筒を持っていって良かったと思いました。また、小さめの鞆や爪切りなども持って行って良かったと思いました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
夜はできるだけ出歩かないようにし、帰りが遅くなるときはタクシーなどを使うようにしました。防犯対策としては、リュックは前を持つようにし、外側のポケットにはできるだけ物を入れないようにしていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
家や学校では Wi-Fi が使えました。電車や地下鉄では接続が悪く、ほとんど使えませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

最初に色々なルールを確認しました。22 時以降はドライヤーを使わないというルール以外は特になにも制限されなかったです。昼ご飯や夜ご飯がいらないときは早めにホストファミリーに連絡するようにしていました。WhatsApp というメッセージアプリを使って連絡を取ったので、日本で事前にアプリを入れておくと使いやすいと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

学校の授業では、クラスのほとんどが日本人でした。最初にテストをしてクラス分けをしたので、授業についていけないということはありませんでした。午前の授業と午後の授業で分かれていて、午後の授業はビジネス英語やイギリスの日常会話についてなど、自分の興味のあるものを選ぶことができました。

2)課外プログラムについて

授業の後、サッカーやバドミントンなどのスポーツを予約して参加できるというものがありませんでしたが、私は一度も参加しませんでした。また、土日に大学のプログラムでバスの日帰り旅行がありました。自力で行くよりも、移動費用をかなり安く抑えることができます。

3)現地での生活に関すること

できるだけ夜ご飯はホストファミリーと一緒に食べるようにしていました。大体 19 時頃にご飯を食べていたので、その前には家に帰るようにしていました。ご飯の際は、その日に行った場所や、天気についての話をしました。また、おすすめの場所、お土産などについても話していました。授業後、家に帰った後や、ご飯の後はテレビを自由に観ていいと言われていたので、自分の部屋にこもりすぎないようにしていました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

特になかったです。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

特にないです。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

雑貨店や、カフェの店員さんがとてもフレンドリーだと感じました。また、渡航前はアジア人差別などがあるかもしれないと不安に感じることもありましたが、全く差別をされることはなく、とても優しい人たちがばかりでした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

授業のクラスはほとんどが日本人だったため、ホームステイのあるこのプログラムを選んで良かったと思いました。ホームステイを通して、日常の英会話に触れることができました。最初の頃は、ホストファミリーの言っていることが全然聞き取れず、不安を感じていましたが、だんだん聞き取れるようになっていって、新しい単語、フレーズなどを学ぶことができました。言っていることがわからなかったときは、もう一度言ってもらうようにしていました。ホームステイのおかげで、特にリスニングスキルが向上したと感じました。

イギリスの料理はそこまでおいしくないと言われていましたが、ホストファミリーが作ってくれた料理や、レストランで食べた料理でおいしくないと感じたものはなかったです。レストランやカフェの料理は少し量が多いと感じました。

イギリスは日本と比べてかなり涼しく、半袖のシャツを着ることはほとんどありませんでした。ただ、たまに気温が高くなった時もあったので、半袖のシャツを 1~2 枚もっていきいと思います。お手頃な値段の服屋もたくさんあったので、日本から洋服をたくさん持って行かず、イギリスに着いてから買ってもいいと感じました。

1 ヶ月の短期留学を通して、日常の英会話に触れ、英語でたくさん話すことができました。また、英語の勉強に関するモチベーションも上がったと感じます。1 ヶ月海外で過ごすという経験はなかなかできるものではないので、少しでも興味があれば参加することをおすすめします。とても貴重な体験ができて良かったです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学 2024 夏期 短期留学
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8400 円	Holafly 一か月分
現地通学費	9000 円	(研修先まで 50 分)学生用乗り放題バスを買いました
教養娯楽費	60000 円	ミュージカルや映画鑑賞、週末旅行など
被服費	5000 円	大学パーカー
雑費		
その他	50000 円	例:お土産
合計	182400 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 日本で外貨両替 200ポンド 現金はほぼ使いませんでした その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください ほぼクレジットカードしか使いませんでした。 ネット決済のときに使えない場合もあるので何枚かあると安心です。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 Holafly が無制限使い放題で評判が良かったので用意しました。 スカーバラやロンドンに行ったときに繋がらなくて困りました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 思っていたよりも寒かったので、厚めの上着やスウェット必須でした。現地で買い足した人もいました。 ウエットティッシュも重宝しました。 USB タイプのケーブルがあると電車やバスで充電できるので持っていけばよかったと思いました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 渡航一週間前ほどに反移民の暴動が起きたために、シェフィールドで抗議活動があった日は警戒するようにホストファミリーにも学校にも言われました。その日は早く帰るように指示され、家や寮でオンライン授業を受けました。 特別に危険を感じたわけではないですが、治安が良いとは思いませんでした。 他大学の生徒が泊まった寮では盗難があったようです。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 大学やホームステイ先では問題なく使えました。 Holafly を利用しましたが、スカーバラやロンドンでは繋がりにくかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホームステイでは厚かましくなったほうが良いと思いました。はじめは遠慮して何も頼めませんでしたが、いろいろ頼みごとをするうちに良い関係を築くことが出来たと思います。こちらが家族を頼ることで、あちらも家事などを気軽に頼んでくれました。ホストファミリーが、日本に住む私たちが想像するようなステレオタイプのイギリス人ではないこともあります。私のホストファミリーは癖のある英語を話す人だったので最初は戸惑いましたが、徐々に聞き取れるようになりました。 渡航前に洗濯の頻度などをメールで聞いておくとよいと思います。また、Whats App をインストールしておくのもおすすめです。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
午前中の授業では仮定法などの高校文法を英語で学習しました。TED talk を使った授業もありました。クラスはウクライナの人や韓国人、中国人がいましたが、ほぼ日本人でした。反応が薄いと先生が不安がるので、反応を大きくすることをお勧めします。
2) 課外プログラムについて
一回だけ language exchange のプログラムに参加しましたが、日本人しかいなかったのあまり有意義とは言えませんでした。ホストファミリーと話したり、買い物に行ったりして過ごしました。 週末の学校が企画してくれる旅行は 5 ポンドと安かったので利用しました。スカーバラやノッティンガム、ヨークへバスで行くことが出来、現地に着いたら自由行動となります。希望すれば滞在時間を延長して自分で電車で帰ることも可能でした。通常なら電車往復で 40 ポンドほどかかるので利用したほうが良いと思います。スカーバラとヨークが特に楽しかったです。
3) 現地での生活に関すること
交通機関が不便に感じました。バスはサインをしないと待っていても止まってくれないので何度か置いて行かれました。特に週末やバンクホリデーの日はバスが予告なく、なくなることがあります。勝手にルートを変えることやスキップすることもあります。First Bus というアプリでバスがどこにいるかを確認していました。電車も遅延するのが当たり前だったので、ロンドンなどに行く際も乗り換えが不要な電車を取ればよかったと感じました。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地学生との交流はほぼありませんでした。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
目が合うと道行く人が笑いかけてくれたり、話しかけてくれたりしてくれたのが心地よかったです。道を歩いているだけでも英語を話す機会があるのはとても良かったです。また、イギリス人の定義を考える授業が印象的でした。イギリスに住んでいればイギリス人なのか、両親がイギリス人である必要があるのか……いろんな考えと実際のイギリスの状況を分析してみるきっかけになりました。イギリスは思っていたよりも色々なルーツを持っている人がいることに気づきました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。（200字以上）

私がこの研修に申し込んだ理由は、ホームステイを体験してみたかったからです。夏期の短期留学はどここの研修も日本人が多くなりがちです。今回の研修でもほぼほぼ日本人しかいなかったのも、友達がたくさんできましたが、授業自体は少し物足りないと感じました。その物足りなさを解消できたのはホストファミリーと交流ができたからです。私のホストファミリーはイギリス英語とも違う、癖のある英語を話す方でしたが、イギリス料理を毎晩のように作ってくれたり、おすすめの観光地を教えてくださいました。はじめは、他人の家に長期間滞在することにストレスを感じましたが、親切にしてくれるホストファミリーのお陰で本当に充実した一か月を過ごすことが出来ました。このプログラムで滞在を受け入れてくださるホストファミリーは、ほぼ全員すでに受け入れ経験がある方たちです。私のホストファミリーは日本食がとても好きだったので、渡航する皆さんは、お好み焼きなどを一緒に作る材料を持っていくと思います。良い会話のきっかけとなり、より親密になれると思います。

私はこの一か月の研修を通して、各国の移民政策に興味を持ちました。渡航期間中に大きな移民政策抗議活動があったり、何をもちて何人と定義するのかを授業内でディスカッションしたりしたからです。はっきりと是非を言いにくいセンシティブな問題だからこそ、自分で調べ自分の意見を持てるようになりたいと考えています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	46000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	9400 円	(研修先まで 1h)
教養娯楽費	10000 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	300000 円	例: お土産、旅行の交通費やホテル代
合計	365400 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
日本で使っている回線をそのまま使用できるプラン
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
爪切り、保湿クリーム

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストとの会話、ニュース
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
観光地では何度か繋がらないときや繋がりにくいときがあった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ホームステイでは日本食をもっていても食べる機会が少ないので、そんなに多く持っていく必要はないと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
各クラスに担任の先生がいて、毎週一回マンツーマンで相談できる機会があるところが良かった。人数が少なかったのも発現しやすく良かった。そして授業は自分の意見を求められることが多く、決して間違えが悪いことではないという考え方で進めてくれたところが良かった。 ただ、日本人が多すぎたところは良くなかったと感じる。
2)課外プログラムについて
日本人しかなかったので参加しなかった。
3)現地での生活に関すること
自分から何か行動しないと何も始まらないので積極的に行動する。 いろんな友達を作ると現地のおいしいお店や安いチケットの買い方を聞けると思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地学生はアンバサダーの2名と自己紹介したぐらいであまりかわりがなかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
していない。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
バスに並んでいると声を掛けられたり、道端で目が合うだけで笑ってくれたり、日常的にフレンドリーな人が多いと感じた。また、感情表現が大きいと感じた。 レストランではチップが当たり前。 バス、電車が頻繁に遅れたり、キャンセルされる。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

研修を通してイギリスと日本のそれぞれの良い所悪い所に気づくことが出来た。また、外国人に対する抵抗感がなくなった。より日本のことを知って外国のことを知って、これからも多国籍な環境で生活したいと思うようになった。私はこれからの人生において、間違えを恐れず、自分のキャバを決め過ぎずに色々なことに挑戦していきたい。 研修に参加するのか迷っている方、参加する前や行く前に不安になることもあると思いますが、研修が終われば必ず行って良かったと思えるので少しでも興味があるなら是非参加してください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学 2024 年夏季
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	15,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	30,000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	3,000 円	
雑費	0 円	
その他	120,000 円	例:お土産、観光
合計	168,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカードが支払いに便利でした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Docomo の世界どこでもギガを使用しました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
フリーズドライのお味噌汁とパックご飯は体調を崩したときに助かりました。普通サイズのバッグだけでなく、移動用の小さめのバッグを持っていくと良かったかもしれません。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
盗難対策でチャック付きのカバンで行きました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に困ったことはありませんでした。ただ、電車内は少し接続が悪かったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

とても良いホストファミリーでした。毎朝朝食を作ってくれました。お風呂の時間や洗濯のタイミングは初めの方に伺っておくべきです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

良かった点は先生方がどんな意見でもポジティブに返してくれたことや、グループで沢山意見を英語で発表をする機会があったことです。良くなかった点は思っていたよりも日本人留学生が多く、現地学生との交流がなかったことです。

2)課外プログラムについて

5 ポンドでイギリスの都市の往復ができるプログラムがありました。それはとてもお得で良いと思います。個人で行くと往復 20 ポンドかかる道をバスで行けるのでとても良いです。

3)現地での生活に関すること

お昼は学校にある売店でパンなどを食べました。とても美味しいのですが、少し高かったです。近くにサンドイッチやフィッシュ&チップスの店もあるのですが、その店はもう少し安く買えました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

まったくありませんでした。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ありませんでした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本の夏よりも気温が低く(平均最高気温 20 度前後)とても過ごしやすいので、散歩にとても良い気候だと思いました。シェフィールドは緑が多いので歩くだけで楽しかったです。Peak District という場所はイギリスの National Park なのですが、そこを歩く体験がとても印象深く残っています。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

イギリスに行く前は不安でいっぱいだと思いますが、行ってみれば時間があっという間に過ぎてしまいました。思っているよりも不自由なく生活できますし、一人で行動する力がつきました。留学前に英語や現地で有名なものを下調べするとホストファミリーと話が弾むと思います。また留学前に多少なりともリスニングをしていると、現地での生活がより便利になると思います。学校では積極的に授業に参加することで、自分の成長にもなりますし、授業をより楽しめると思います。あとは、授業のクラスが一緒になった学生たちと交流を深めるとより楽しく留学生活を遅れると思います。そして最初は難しいかもしれませんがホストファミリーに積極的に話しかけると、より英語が身につくと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学夏季短期留学 2024
-----	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	8000 円	
現地通学費	12000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	50000 円	
被服費	80000 円	
雑費	30000 円	
その他	円	例:
合計	260000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港でクレジットカードから現金に換えてもらった その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードがほとんどの場所で使えるので、クレジットカードは必須
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Three のSimカードを使った。30GBで足りなくなってしまったため、現地で追加 Sim カードを購入した
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
クレジットカード、サングラス→現地は日差しが強い 日用品は現地で調達か、ホストファミリーに使わせてもらったので、準備したほうがよかったものは特になし

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
旅行の際は、電車などでリュックを前に背負った。貴重品はポケットに常に入れておくようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
現地はネット回線が弱いところがあった

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホームステイは常に英語を話さなければいけない環境だったので、良い経験になった。ドミトリーに住んでいた友人の話を聞いた
ら、ドミトリー内では日本人と日本語での会話になってしまったそうなのでオススメしない。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスを変えたかったが、変えることが出来なかった。校舎に現地のイギリス人がいなく、中国人や韓国人の人としか関わる機会が
なかった。良かった点は、コミュニケーションをとる授業が多めだったので、話す練習になった。

2)課外プログラムについて

任意だったため出席していない。行きたいところに行くのが最適だと思った。来るはずのバスが来なくなることが多々あった。

3)現地での生活に関すること

シャワーの時間は事前に聞いていたほど厳しくなく、自由な時間に好きなだけ入ることができた。来るはずのバスが来なくなることが
多々あった。危ないことをしようしない限り、危険なことに巻き込まれることはそうそうないと感じた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

夏休み中だったこともあり、現地学生との交流はなかったが、中国人や韓国人との交流はあった。仲良くなって一緒に遊びに行け
た。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

Meetupというサイトから、異文化交流のイベントに参加して、一緒にお酒を飲んだ。様々な文化の人と交流ができたため、新たな
価値観を得ることができた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

ホストファミリーの家で出される料理の味が全体的に薄いと感じた。海外の空港だということが割と皆適当なので、飛行機を使う際
は自分で調べて行動することが大事と感じた。自分の経験したことと言うと、預け手荷物はチェックインの後に追加できるといわ
れたのに、実際はチェックインの前にやらなければいけないもので、お金を無駄に多く払うことになった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修を通して、英語力が格段に上がったとは言えないが、英語を話すことに対して抵抗がなくなった。日常会話を繰り返すこと
によって、使いやすいフレーズや文法がわかってくるので、会話のテンポが留学前より格段に上がったと感じた。この留学で英語を
話すことに対しての自信がつき中国人の友達ができたと、今後も関係を続けていけたらと思う。また、イギリス、フランス以外の
行ったことのない国に行って新たな価値観を学びたいと以前よりも思えるようになったし、英語を話したい気持ちがより一層強くなっ
た。後輩へのアドバイスとしては、大学生で一度は留学に行くべきだと思った。今回は短期留学だったが、海外の生活に一度触れ
てみることはとても良い経験になったし、大学生になった上で海外に行くことは、今まで海外に行ったことがある人でも新しい視点
を持つことができると感じた。もし、多少なりとも留学を考えているのであれば絶対にすべきだと思う。英語ができなくてもジェスチャ
ーなども駆使すれば意外と伝わるし、語学留学は現地で英語力を伸ばすためのものだから、日本で勉強するよりも、行ってみたいく
さん吸収するべきだと思った。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	シェフィールド大学
-----	-----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	9700 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	20000 円	
被服費	7000 円	
雑費	5000 円	
その他	円	例:
合計	92,700 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードで全部払えます
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
E-sim を用意しました
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
変圧器をたくさん持って行ったほうがいいです

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーから情報を取得しました
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
地下鉄では通信が少し不安定でした

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホスト家族と一緒に住んでいる方ならホスト家のルールを守るのがいいです

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業以外にも体育プログラム、言語交換プログラムのような色々なプログラムがあって良かったです。しかし週末と一緒に旅行に行くプログラムを学校で事前に準備してくれたら学校プログラムを利用したはずなのにあらかじめ計画された予定と学校プログラムが重なって行けなかったのが悲しいです。スポーツプログラム(サッカー、卓球、スカッシュ)、言語交換プログラムがあります。

2)課外プログラムについて

スポーツプログラム(サッカー、卓球、スカッシュ)、言語交換プログラムがあります。

3)現地での生活に関すること

イギリスの物価が高いから簡単な日本料理を持って行った方がいいです。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ほとんどの学生が日本の学生で、韓国人とウクライナ人がクラスに一人ずついて、文化について話したり、寮に遊びに行ったりしました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

バス停でイギリス人が声をかけてバスを待つ間親しくなってインスタを交換して連絡をしながら交流した経験があります。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バス停でバスを捕まえる時、タクシーを捕まえるようにバスを止めなければなりません。バスを降りる時も駐車場の名前を言わないので、自分でグーグルマップをずっと見たり、外のような風景を見て到着地に降りなければなりません。この文化を見てイギリス人は停留所を言わなくてもみんな道を知っているんだと思いました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

イギリスのシェフィールドでの1ヶ月の生活は、多くのことを学び、経験する貴重な時間でした。ホストファミリーとの生活で最も重要なことは、ルールをよく守ることです。このような規則は家族によって異なる場合があるため、初日にはホストファミリーが説明する規則を聞いて、明確に理解して守ることが重要です。これにより、お互いに円滑なコミュニケーションが可能になり、不必要な誤解を避けることができます。ルールが明確でない場合は、遠慮なく聞いてみることをお勧めします。むしろ、あなたのホストファミリーは、あなたが彼らのルールを尊重し理解しようとしている態度についてより良い印象を持つでしょう。

学校でも徹底した準備と復習が必要です。授業で学んだことをすぐに復習することが大切です。短い時間でも毎日メモを取ったり、教科書を再検討する習慣をつけて、学んだ表現や内容を反省するようにします。これは、授業で学んだことをよりよく理解し、日常生活で自然に活用するのに役立つでしょう。特に、英語の表現をできるだけ覚えて、実際の会話で使うのが効果的です。これにより、あなたの英語力は急速に向上するでしょう。